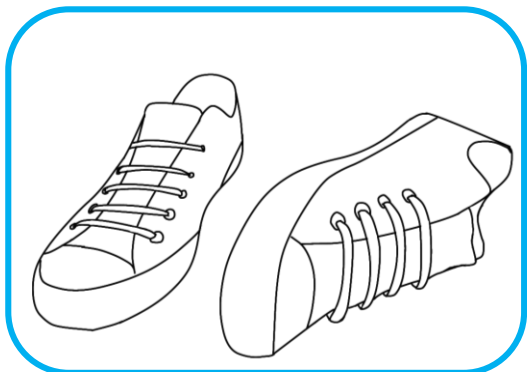
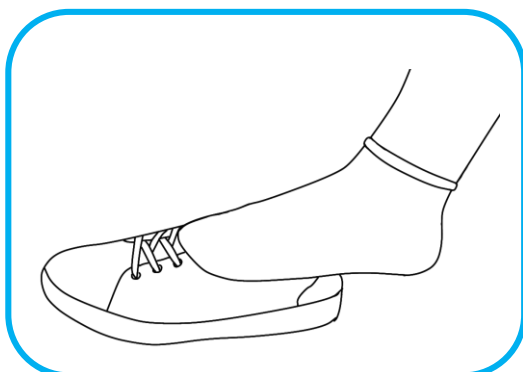


病院実習で、車椅子利用者が靴を履くりハビリをしているところを見学させていただいた。

しかし…



靴が倒れてしまう。



靴を踏んでしまう



踵を踏んでしまい、  
靴ベラがうまく使えない

下半身不自由者が自分の好きな靴を、  
自分で履くための補助具を作りたい

## 靴を履くためには、2つの動作が必要

①つま先を入れること



②踵を入れること



靴べらが斜めであること



靴べらが垂直であること



二つの関節を使用することで実現可能に

**取っ手棒**：横と上方に取っ手を取り付け、引っ掛けるだけで、この靴ベラを動かすことができるようにした。

**ヘラ**：後方は足が置きやすいよう、平べったく幅広に。前方は踵が入りやすいように、幅を狭くしカーブを付けている。

**二つの関節**：第一関節と、第二関節。さらに関節を結ぶ、3つのアームをもつ。

**土台**：本体のみで自立することができ、靴をはめ込みやすい形になっている



## 二つの関節について



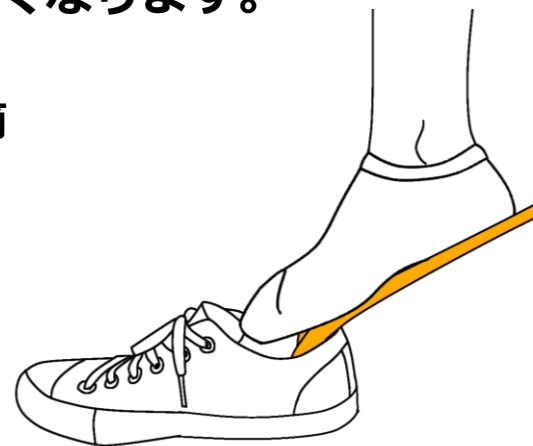
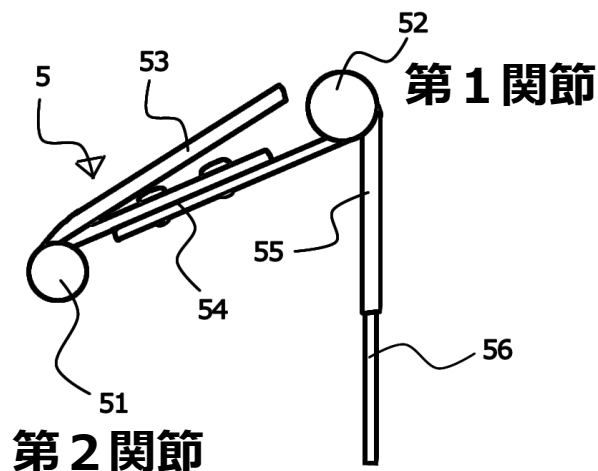
②

第2関節が曲がることによりへらを直立させることができるため、かかところが靴に入り易くなります。



①

第1関節が曲がることにより、へらを水平から斜めに傾けることができるため、つま先が靴に入り易くなります。



## より良い靴ベラにするために

- ・ 専門家の意見を聞き、取り入れてより良くしたい。



## 社会に普及するために

- ・ 全国脊髄損傷者連合会などの下半身が不自由な方が集まる場所にPRに行きたい
- ・ 靴ベラを必要としてくれる人を探したい。

## 専門家やプロの方へ

ぜひ、私にアドバイスをください！